

第9課

❖❖ コンビニで買い物をする ❖❖

スキット

ピクニックに行く前に、のぞみとサイダがコンビニで買い物をしていますー

Nozomi (N) : *Konbini* **ziko** kwenye watu wengi.

Wanauza kila kitu kutwa kucha.

Saida (S) : **Zinafaa.**

Kwanza tuchague vyakula na vinywaji.

N : Sawa.

Halafu tununue vitafunwaji na kamera.

S : A-ha, hata kamera **inapatikana.**

Duka hili **limenipendeza.**

Nitakuja tena.

N : Duka la aina hii **utalikuta** hata karibu na nyumbani kwako.

S : Ee.

のぞみ (N) : コンビニは人がたくさんいる所にあるんだ。

Konbini wa hito ga takusan iru tokoro ni arunda.

24時間営業でいろんな物が売っているよ。

Nijuu-yo-jikan eigyou de ironna mono ga utteiru yo.

サイダ (S) : 便利だね。

Benrida ne.

はじめに食べ物と飲み物を買おう。

Hajimeni tabemono to nomimono wo kaou.

N : そうだね。

Souda ne.

あと、お菓子とカメラも買っていこう。

Ato, okashi to kamera mo katte ikou.

S : えー、カメラも売っているんだ。

Ee, kamera mo utteirunda.

この店、すごいね。

Kono mise, sugoi ne.

また来よう。

Mata koyou.

N : こういう店は家の近くにもあるよ。

Kouiu mise wa ie no chikaku ni mo aru yo.

S : そうなんだ。

Sounanda.

解 説

第9課では、次の項目について学びます。

- ◆ [名詞クラス] クラス 16/17/18
 - ◇ 主語のシルシと目的語のシルシ (クラス 1~18)
- ◆ [動詞シルシ形] (時ナシ動詞) ハアル表現



◆ (名詞クラス) クラス 16・17・18

これまでに名詞クラスのクラス1からクラス15までを見てきましたね。ここではまだ残りの名詞クラス、クラス16、クラス17、クラス18について見ておきましょう。

[クラス 16 / クラス 17 / クラス 18]

○ 場所

特定の場所 / 不特定の場所 / 内部の場所

名詞のシルシ:

pa- / ku- / mu-

クラス16、クラス17、クラス18は場所のクラスです。クラス16は特定の場所、クラス17は不特定の場所、クラス18は内部の場所を表わします。名詞のシルシはクラス16が‘pa-’、クラス17が‘ku-’、クラス18が‘mu-’ですが、これらのシルシから始まる語はあまりありません。

‘mahali’〈場所〉という語はクラス16、クラス17、クラス18のいずれにも属します。また、名詞に場所のシルシ‘-ni’を付けた場所名詞も、これらのいずれかのクラスに属す扱いを受けます。

例を見ておきましょう。

クラス 16 / クラス 17 / クラス 18

■ mahali

〈場所〉

■ 名詞 -ni

nyumbani 〈家に・で〉

chumbani 〈部屋に・で〉

mezani 〈机に・で〉

場所名詞がクラス16なのか、クラス17なのか、クラス18なのかは、ともに現われる語の形で明確に表わされます。

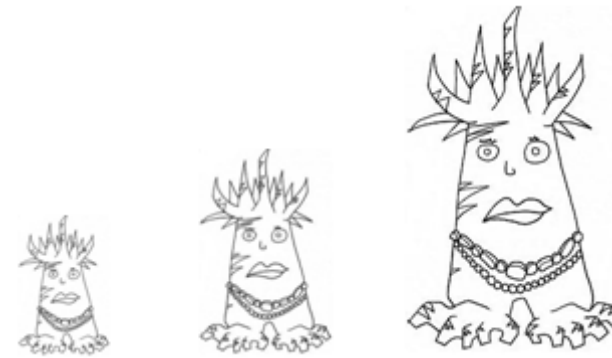
- **mahali pa** Nozomi <のぞみの場所に・で>
(クラス 16)
- **mahali kwa** Nozomi <のぞみの場所に・で>
(クラス 17)
- **mahali mwa** Nozomi <のぞみの場所の中に・で>
(クラス 18)

❖ · · ❖

それでは、クラス 16, 17, 18 の〈の〉や〈私の〉, 〈この〉などを見ていきましょう。まず、クラス 16 ではこのようになっています。‘p’の音が共通していますね。‘p’に‘a’がくっついていたりもします。

▽ クラス 16の〈の〉や〈私の〉, 〈この〉など

pa	<の>		
pangu	<私の>	petu	<私たちの>
pako	<あなたの>	penu	<あなたたちの>
pake	<彼(女)の>	pao	<彼(女)たちの>
hapa	<ここ>	hapo	<そこ>
pale	<あそこ>	wapi	<どこ>



<どこ>を表わす語は普通、クラス 16 もクラス 17 もクラス 18 も ‘wapi’ です。

続いて、クラス 17 ではこのようになっています。‘kw’の音、あるいは‘ku’の音が共通していますね。この‘kw’は、‘ku’が後に続く母音とひとまとまりになることによって、できたものです。

▽ クラス 17の〈の〉や〈私の〉, 〈この〉など

kwa	<の>		
kwangu	<私の>	kwetu	<私たちの>
kwako	<あなたの>	kwenu	<あなたたちの>
kwake	<彼(女)の>	kwao	<彼(女)たちの>
huku	<ここ>	huko	<そこ>
kule	<あそこ>	wapi	<どこ>

最後に、クラス 18 ではこのようになっています。‘mw’の音、あるいは‘mu’の音が共通していますね。この‘mw’は、‘mu’が後に続く母音とひとまとまりになることによって、できたものです。

▽ クラス 18 の〈の〉や〈私の〉、〈この〉など

mwa	〈の〉		
mwangu	〈私の〉	mwetu	〈私たちの〉
mwako	〈あなたの〉	mwenu	〈あなたたちの〉
mwake	〈彼(女)の〉	mwao	〈彼(女)たちの〉
humu	〈ここ〉	humo	〈そこ〉
mle	〈あそこ〉	wapi	〈どこ〉



◇ 主語のシルシと目的語のシルシ(クラス 1~18)

さあ、これで名詞クラスの 15 クラスを一通り見終えました。

それぞれのクラスにはクラス共通のシルシがあり、それぞれのクラスと関わる語もそのクラス共通のシルシを付けるのでしたね。ここまでは各クラスの〈の〉や〈私の〉、〈この〉などの型に付くシルシを見てきました。

動詞シルシ形の主語のシルシや目的語のシルシにも、同じように各クラス共通のシルシがあります。スキットの中に、このような文が出ていましたね。

S : **Zinafaa.** 〈便利だね。〉

S : A-ha, hata kamera **inapatikana.**
〈えー、カメラも売っているんだ。〉

S : Duka hili **limenipendeza.** 〈この店、すごいね。〉

第2課にもこのような文が出ていました。

N : Ah, kengele **imelia.**
〈あ、チャイムが鳴りました。〉

‘zinafaa’, ‘inapatikana’, ‘limenipendeza’, ‘imelia’, これらの動詞シルシ形も、それぞれがそれぞれの主語の名詞クラスに応じた主語のシルシを付けています。

- (konbini) **zinafaa.**
(クラス 10)
- (kamera) **inapatikana.**
(クラス 9)

- (duka) **limenipendeza.**
(クラス 5)
- (kengele) **imelia.**
(クラス 9)

また、この課のスキットの中に、このような文も出ていましたね。

S : Duka la aina hii **utalikuta** hata karibu na nyumbani kwako.
〈こういう店は家の近くにもあるよ。〉

‘utalikuta’のここでの文字通りの意味は、〈あなたはこの種の店を見つけるだろう〉です。

utalikuta 〈あなたはこの種の店を見つけるだろう〉

‘utalikuta’の‘-li-’が目的語の‘duka la aina hii’〈この種の店〉を表わしています。‘utalikuta’も、目的語の名詞クラスに応じた目的語のシルシを付けているのです。

- utalikuta (duka la aina hii)
(クラス 5)

主語のシルシと目的語のシルシはこのようになっています。クラス 1 以外は主語のシルシと目的語のシルシが同じ形をしていますね。

▽ 主語のシルシと目的語のシルシ(クラス 1~18)

クラス ^{*1}	(例)	主語のシルシ	目的語のシルシ
1(3s)	(Saida)	a-/yu- ^{*2}	-m- ^{*3}
2(3p)	(wazee)	wa-	-wa-
3	(mti)	u-	-u-
4	(miti)	i-	-i-
5	(jiwe)	li-	-li-
6	(mawe)	ya-	-ya-
7	(kitu)	ki-	-ki-
8	(vitu)	vi-	-vi-
9	(nguo)	i-	-i-
10	(nguo/nyuzi)	zi-	-zi-
11	(uzi)	u-	-u-
15	(kusoma)	ku-	-ku-
16	(mahali)	pa-	-pa-
17	(mahali)	ku-	-ku-
18	(mahali)	mu-	-mu-

*1 ‘3s’は3人称単数, ‘3p’は3人称複数を表わす。

*2 ‘yu-’はハアル表現の場合のみ用いる。

*3 このクラスの目的語のシルシのみ主語のシルシと一致しないことに注意する。

クラス1～11まで、例を見ておきましょう。まずは主語のシルシです。

クラス			
1(3s)	Saida	a lianguka.	〈 <u>サイダ</u> が倒れた。〉
2(3p)	Wazee	w alianguka.	〈 <u>親たち</u> が倒れた。〉
3	Mti	u lianguka.	〈 <u>木</u> が倒れた。〉
4	Miti	i lianguka.	〈 <u>木々</u> が倒れた。〉
5	Jiwe	l ilianguka.	〈 <u>石</u> が落ちた。〉
6	Mawe	y alianguka.	〈 <u>石</u> が落ちた。〉
7	Kitu	k ilianguka.	〈 <u>物</u> が落ちた。〉
8	Vitu	v ilianguka.	〈 <u>物</u> が落ちた。〉
9	Nguo	i lianguka.	〈 <u>服</u> が落ちた。〉
10	Nguo	z ilianguka.	〈 <u>服</u> が落ちた。〉
11	Uzi	u lianguka.	〈 <u>糸</u> が落ちた。〉
10	Nyuzi	z ilianguka.	〈 <u>糸</u> が落ちた。〉

(‘+ anguka’ 〈倒れる, 落ちる〉)

続いては目的語のシルシです。

クラス			
1(3s)	Nili m tazama	Saida.	〈私は <u>サイダ</u> を見た。〉
2(3p)	Nili w atazama	wazee.	〈私は <u>親たち</u> を見た。〉
3	Nili u tazama	mti.	〈私は <u>木</u> を見た。〉
4	Nili i itazama	miti.	〈私は <u>木々</u> を見た。〉
5	Nili l itazama	jiwe.	〈私は <u>石</u> を見た。〉
6	Nili y atazama	mawe.	〈私は <u>石</u> を見た。〉
7	Nili k itazama	kitu.	〈私は <u>物</u> を見た。〉
8	Nili v itazama	vitu.	〈私は <u>物</u> を見た。〉
9	Nili i itazama	nguo.	〈私は <u>服</u> を見た。〉
10	Nili z itazama	nguo.	〈私は <u>服</u> を見た。〉
11	Nili u tazama	uzi.	〈私は <u>糸</u> を見た。〉
10	Nili z itazama	nyuzi.	〈私は <u>糸</u> を見た。〉

(‘+ tazama’ 〈見る〉)



◆ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ハアル表現

さあ、最後に動詞シルシ形の時ナシ動詞のハアル表現について見ていきましょう。

この課のスキットにこのような形のものが出てきましたね。これらが時ナシ動詞のハアル表現です。

N : *Konbini ziko* kwenye watu wengi.
〈コンビニは人がたくさんいる所にあるんだ。〉

第5課にも出ていました。

S : (…), mpumzike kama *mpo* nyumbani kwenu.
〈ゆっくりしてね。〉

‘ziko’は、‘zi-’が‘Konbini’を指していて、文字通りは〈コンビニは〜にある〉という意味です。‘mpo’は、文字通りは〈あなたたちは〜にいる〉という意味です。

Konbini ziko ~ 〈コンビニは〜にある〉

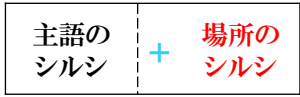
mpo ~ 〈あなたたちは〜にいる〉

ハアル表現は「〜はある」と述べる言い方です。人が主語の場合には、「〜はいる」という表現になります。

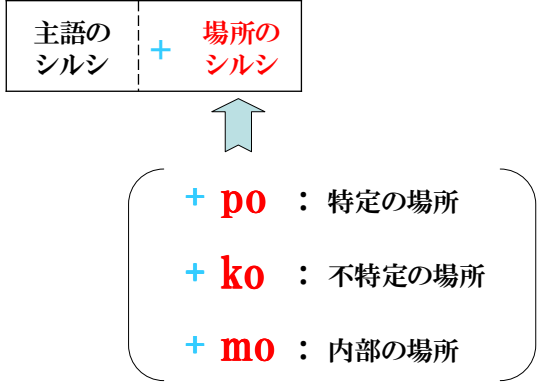
[動詞シルシ形](時ナシ動詞)
ハアル表現
「〜はある」「〜はいる」

ハアル表現は主語のシルシと場所のシルシから成ります。時間のシルシは入りません。よって、この形は状況を表わすのみです。前に見たガアル表現とよく似ていますね。

▽ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ハアル表現



場所のシルシには、‘+ po’, ‘+ ko’, ‘+ mo’のいずれかが入ります。‘+ po’はこの課の最初に見た名詞クラスのクラス16と同様で特定の場所を、‘+ ko’はクラス17と同様で不特定の場所を、‘+ mo’はクラス18と同様で内部の場所を表わします。



例で確認しておきましょう。

- ‘+ po’: 特定の場所

((例 1)) Mpumzike kama **mpo** nyumbani kwenu.

〈あなたたちは自分の家にいるように、ゆっくりしてね。〉
(‘nyumbani kwenu’ 〈あなたたちの家に〉)

- ‘+ ko’: 不特定の場所

((例 2)) *Konbini* **ziko** kwenye watu wengi.

〈コンビニは人がたくさんいる所にあるんだ。〉
(‘kwenye watu wengi’ 〈人がたくさんいる所に〉)

- ‘+ mo’: 内部の場所

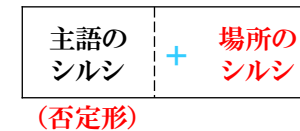
((例 3)) Nozomi na Saida **wamo** dukani.

〈のぞみとサイダは店の中にいる。〉
(‘dukani’ 〈店に〉)



このハアル表現で「～はない」、「～はいない」と否定を表わしたい場合は、主語のシルシを否定形に変えます。(名詞クラスの主語のシルシ否定形は後の課で見ます。)

▽ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ハアル表現(否定形)



一つだけ、注意しておかなければならない点があります。このハアル表現の主語のシルシが 3 人称単数の場合のみ、これまで見てきた人の主語のシルシとは異なるシルシを用います。肯定形は‘a-’ではなく‘**yu-**’, 否定形は‘ha-’ではなく‘**hayu-**’を使います。

((例 4)) Saida **yumo** dukani.

〈サイダは店にいる。〉

((例 5)) Saida **hayuko** nyumbani.

〈サイダは家にいない。〉

(‘nyumbani’ 〈家に〉)

❖